

最期までその人らしく過ごすために ～訪問看護における訪問リハビリテーション～

訪問看護における訪問リハビリテーションとは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が利用者様の自宅を訪問し、リハビリテーションを行い、利用者様のQOL(Quality of Life: **人が人間らしい生活をおくること**)の支援を総合的にを行うことを目的としています

～とある利用者様の記録～

難病を患ったA様は、徐々に身体能力が低下していました。



**娘の負担を減らしたいからデイに行き続けたい！
墨絵を続けたい！
人と話すのが好きなので大きな声で話したい！
おいしいものを食べ続けたい！**

理学療法士
歩行練習など

作業療法士
食事・趣味活動
の工夫など

言語聴覚士
発声・嚥下練習
など



各セラピストが
1回/週ずつ関
わりました

- ★お看取り5日前までデイサービスに参加できました
- ★好きなものは最期の日まで食べられました
- ★リハビリ中、墨絵を書くことで座位時間も延長できました

最期まで、A様・ご家族様の希望に沿ったリハビリを提供することができたことで、娘さんより「最期まで母らしく生き、納得のいく最期を迎えることができました。」とお言葉を頂きました。

A様のように、その人らしく、最期まで過ごせるよう、訪問リハビリでは、**3職種**の専門的な知識を活用し、**多職種と連携し、支援することが**できます。

訪問リハビリについてご興味のある方は、
お気軽にお問い合わせください！！

聖隷訪問看護ステーション山本
電話番号：072-740-3551
営業時間：9：00～17：30
担当：樋口・兼子

入居者・利用者の方々の作品

郭公や鳴けば静けさ深まれり

飯田 須美子

団扇風 母七人を 育てたり

渡部 義次

まあちやんと 幼なじみに 呼ばれたり
浜昼顔に ふるさとを見る

土佐の浜辺がふるさとです

澤田 正孝

ふたくみの 娘夫婦とつり旅行
思いもかけぬ 母の日のつどい

佐藤 典子

紫陽花に
はげしき雨音 響きけり

福光 愛子

谷若葉 沈む夕日の 赤さかな

江見 絹代

皆様からのご意見

苦情内容 2023年4月～6月 今回、ご意見ありませんでした。

4年ぶり！

「花屋敷せいの里
全体会を開催しました」

6月9日（金）

- ① コンプライアンス（個人情報保護法）
- ② 虐待防止研修・身体拘束適正化研修
- ③ ケアマネジャーの仕事についての勉強会・研修を行いました。

コンプライアンス（個人情報）について、日々の書類を扱う上での注意点を再度確認し、虐待防止・身体拘束適正化研修は法律の項目で禁止されている部分や、拘束適正についてわかりやすい説明を聞きました。ケアマネジャーの仕事については、1日の流れや、やりがいなどを聞く事ができ最後に懇親会も兼ねた軽食で一息ついたあと、終了しました。



花屋敷せいの里祭り、ボランティア募集

10月7日（土）に4年ぶりの里祭りを開催予定です。
11時～15時の間で利用者の誘導、会場手伝いなどに協力いただけるボランティアを募集しています。
興味のある方は下記にご連絡をお願いします。

問い合わせ：072-740-3388（担当：柏木・下尾・若月）

編集後記

8月に入り、ひときわ厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
部屋の中でも熱中症になるといわれています。
水分摂取をこまめに行い、熱中症を予防しましょう。

※写真掲載に関しましてご本人・ご家族のご承諾を得ています。

発行



社会福祉法人
聖隷福祉事業団



花屋敷せいの里

〒665-0808 兵庫県宝塚市切畑字長尾山5-321

TEL：072-740-3388 FAX：072-740-3980

http://www.seirei.or.jp/elderlyhome/hanayashiki/